



自主保育グループ あおぞら

読む救急箱



まずは大人が落ち着きましょう。痛がる子供の不安をおおらないで。

子供の目の高さで見えるように処置してあげます。

子供がショックを受けているようなら抱きしめてあげて緊張を解いてあげます。



基本的に、首から上のトラブルは病院に連れて行きます。

出血の手当て

- ① 洗浄 流水で汚れ・血を洗い流します。(消毒はあえてしない。菌の7割は良性。)
- ② 止血 首から上の出血は量が多いもの。きつく絆創膏を貼ります。
傷が大きく出血が多い時は、直接手で圧迫し、心臓より高い位置に持っていきます→病院へ

傷の処置方法

- ◆裂傷 傷をふさがないように病院へ。(汚れや異物を残したまま傷口が閉じてしまわないよう)
- ◆すり傷 流水でよく洗います。
- ◆刺し傷 刺さった場所の血を出しきります。

歯が折れた・欠けた・ぐらぐら

- ◆折れたり・欠けたりした歯(欠片もあれば)を牛乳(母乳でOK)に浸して歯科へ持参します。
できましたら、授乳中の母にご協力をお願いします。
- 乳が確保できない場合は、大人の口の中(歯と頬の間)で保管します。(いずれも組織の死滅を防ぎます)

食物アレルギー反応 可能性を感じたら保母→子の親へ連絡（→病院）

多くの場合は「即時型アレルギー」で食べた直後から遅くとも4時間以内に症状が見られます。じんましんや紅斑（皮膚が赤くなること）、浮腫（むくみ）が一番多い症状ですが、咳・喘息発作、嘔吐・腹痛・下痢などが見られることもあります。血圧が下がって意識が遠のいてしまうアナフィラキシーショックが、一番重い症状です。また、ある食べ物を食べた翌日や二日後に、湿疹が悪くなるといった症状が見られる「遅延型アレルギー」もあります。危険なじんましんの目安は、皮膚の弱いおなか等に出ていることです。

◆あおぞらで気をつけたいこと

◇月ごとの料理・キャンプ・お泊まり保育・タンタンなど、食事を伴うイベントの食材を選ぶ際、牛乳・卵・(大豆)、南国系のフルーツ、蕎麦、ナッツ類、ゴマに気をつけます。

特に蕎麦やナッツ類・ゴマは症状が重く出やすく、場合によってショック死することもあります。

また卵は魚・肉の練り物製品やマヨネーズ・市販の天ぷら粉・お菓子などにも、乳は乳製品以外にカレールーなどにも含まれていることがあります。商品裏のラベル表示をよく見てみましょう。

◇自分の子に食物アレルギーがある場合は、対象食物・程度など必ずみんなに公表しておいてください。

◇食材選びなど食品アレルギーについてわからないことや、不安なことがある場合は、アレルギーを持つ子の母に尋ねてみましょう。喜んで教えてくれるはずですよ（^^）

動植物にかかわる注意点 出会った時に子供にも危険を伝えてあげてください。

いずれも刺されて間もないうちにステロイド剤を塗ってあげるとひどくならにくくなります。

◆蜂（夏～秋の終わりまで）

この期間は攻撃の対象になりやすい黒い衣服を避けましょう。

出会ったら騒がず、追わず、叩かないよう注意をさせ、そっとその場を逃げるよう指示しましょう。

刺されたら刺抜きで根元から針を抜きます。指で抜くのはお勧めしません。

間違ってもオシッコはかけないでくださいね。

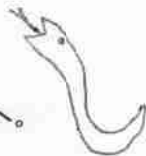
* 巣を見つけたら、大高緑地公園事務所に連絡を… ☎ 052-622-2281

◆ヘビ（特に夏）

雨の後など蒸し暑い時には、ヤブに近づかないよう注意しましょう。

噛まれたらすぐに口で毒を吸い出し、病院へ。

噛むだけではなく、毒液を飛ばす種類もあります。毒液が目に入った場合も病院へ。



◆ムカデ

見つけたら渾身の力で踏み潰して退治します。

咬まれると小さな2つの穴があくので、少し捻げて毒を吸い取ります。

冷やすと痛みが増すので、水道の水では洗わず病院へ。

◆イラガの幼虫（7月～10月頃）チャドクガの幼虫（5～6月・9～10月頃）

鮮やかな黄緑色の毒毛をもつ小型のイラガの幼虫、灰色の体に青いライン長く数多い毒毛をもつチャドクガの幼虫。いずれも刺された場合は手で毒毛を払おうとせず、水で洗い流します。

イラガの場合は、幼虫をつぶして出てきた緑色の汁を塗ると痛みが引きます。

子供が刺された時・毒毛が目に入った時は病院へ。

◆犬に噛まれたら…

石鹸を使い流水でよく洗い、消毒をして必ず病院へ。破傷風の予防注射を受けるといいでしょう。

飼い主がいれば予防注射をしているかどうか確認し連絡先をきいておきます。

飼い主が不明な場合は、犬の特徴を覚えておき、保健所に連絡します。

* ドッグラン以外の場所でリードを外している飼い主を見かけたら、勇気を出して

「子供が怖がるのでリードをつけて下さい」とお願いしましょう。

◆植物によるかぶれ

患部をこすると広がってしまいます。洗わずに（水によりひろがることもある）ガーゼをあて病院へ。

かゆみが強い場合、冷やすとマシになるでしょう。

◆とびひ（ステロイド剤は効きません。抗生物質が有効です。）

虫刺されやアセモ等を細菌のついた手で掻きむしったりすることで細菌感染し、トビヒになります。

とても人に伝染しやすいので（特に夏場はプールで感染しやすい）、はやめに病院へ。

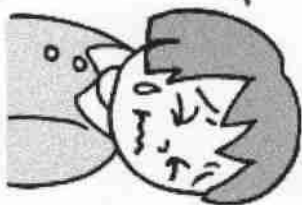
知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

頭など出血を伴う場合は傷口を押え、名前を呼んでも答えられない時は
早急に救急車を呼ぶ

「 転 落 」

吐く時に備えて頭を横に向けて

安静に保つ



出血部分を
タオルで押さえる

いつもと同じように大声で泣いていれば、だいたい大丈夫。精神的なケアを。

ただし保母・親には必ず連絡し、その後、頭痛・吐き気・腹痛などの変化がないか要観察。

いつもと違う小さな変化（不機嫌なども）がある時は病院へ行っておくことをおすすめします。

頭を打った日は、食事量・お風呂などを控えめに。

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

軟膏や脱脂綿は、病院での処置に邪魔になることがあるので、おすすめしません。

「切り傷」

ハンカチ等で傷口を押さえて病院へ

傷を清潔なハンカチで

おおってしっかり押さえる



傷口が汚れている場合は、水道水で洗ったり、

スプレー式の消毒液をかける

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

患部を冷やし、圧迫し、高くあげる

*
患部は
心臓より
高い位置に



*
氷で
冷やす
のり

「ねんざ・骨折」

激しく痛がり骨折が疑われる場合は、むやみに動かさず、
段ボールや板などで固木固定し、病院へ。

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

バンザイ・グーチョキパーができるかどうか、
重症度をみる目安

「脱臼」

ケガをして、バンザイができないときは要注意！

早めに病院へ行きましょう



痛めた腕をなるべく動かさないように。

予防のため、急に子供の腕を引っ張らないようにしましょう

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

「目のけが」

目をぶつけたら、まず冷やす



鋭利なもので目を傷つけたとき
目が動くのを防ぐため、
両目をおおって上向きにして病院へ



白目に異物がついたとき
洗眼でも取れない場合は、
綿棒でそっと取る



ボールなどが目に当たったとき
冷やして病院へ

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

きれいな水で冷やすのが効果的

「虫刺され」

蚊・ブヨは、あまり掻かせないように…

蜂に刺された場合は、病院へ

* 蜂に刺されないために *

- ・ 蜂を驚かせない
- ・ 黒い服を避ける
- ・ 頭を隠してそっと逃げる



知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

「脱水・熱中症」

「飲水休憩」で体温上昇を防ぐ

水分・塩分補給による予防が大切。日陰での遊びは帽子をとって。

顔が真っ赤になっていたら水筒を確認。

たくさん汗をかくことが予想される日は

干し梅などを持たせて塩分補給も。



風通しのよい木陰の涼しい

ところに寝かせ衣服をゆるめる。

冷たいタオルなどで体を冷やし、

様子を見ながら水分をとらせる。

水も受けつけず、

意識もはっきりしないときは

大至急、病院へ。

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

「窒息」

背中を叩いたり、おなかを圧迫して異物を吐かせる



大人のひざの上にうつ伏せにして、頭を低い位置に置いて、肩甲骨の間を4・5回強く叩く＝上左図。

後ろから腕を回し、肋骨弓の下で両手を握り、おなかを強く圧迫して腹圧をかける＝上右図。

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

「 誤飲(ごいん) 」

大人の注意で防げるものがほとんど



口や浅い所にあれば

指をつっこむ。



頭を下方にして

背中を叩きながら吐き出させる。

尖ったもの・灯油や塗料などの揮発性のもの・洗剤などの場合は、無理に吐かせず病院へ

知っておくと安心。こんな時、あんな時の応急手当

「やけど」

流れる水道水で30分以上冷やし続ける

薬は塗らない。とにかく水で冷やす。

重度の場合はむやみに服を脱がせない。



「自主保育」は、母一人一人が全体の子供達の安全を見守る監督者であることで成り立っています。子供の好奇心・冒険心を妨げないようにしながら危険回避能力を育むことは難しいことだと思いますが、どう伝えていけるか試行錯誤していきましょう。

****参考・資料****

i-子育てネット（子育て支援ネット）HP 「ママの救急箱」より資料引用

<http://www.i-kosodate.net/health/aid/200201.html>

しんぽれん（新しい保育を考える会）HP 「ニュースレター」参考

<http://www.l7t.sakura.ne.jp/~shinporen/>

ESSSAGE HP 「子供の怪我と応急処置」参考

<http://esssage.hp.infoseek.co.jp/mom/firstaid.html#1>

神奈川県衛生研究所 HP 「有毒毛虫類」参考

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/008_topics/files/topics_040311_02.htm

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク HP 「食物アレルギー対策」参考

<http://www.alle-net.com/taisaku/food01.html>

Team-Allergy.com HP 「食べていいもの・いけないもの」参考

<http://www.team-allergy.com/?cn=100018>